

事業	事務事業名	交通安全対策費				担当部署	部名	市民環境部	
		-----					課名	生活安全課	
012							電話	52 - 7966	
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第4章 安心して暮らせるまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第5節 交通安全対策の推進						目	交通安全対策費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~	平成 年度				
根拠法令・要綱等		交通安全対策基本法 第8次富山県交通安全計画							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	19 頁	個別計画	第8次射水市交通安全計画			

事業目的	対象(誰を・何を)	全市民
	意図(どのような状態に)	人命尊重の理念の下に、市民が安全、安心、安定を実感できる総合的な交通安全対策を推進し、交通事故そのものを減少させる
事業内容	手段(どのような方法で)	参加・体験・実践型の交通安全教育の実施(交通安全教室等) 交通安全思想の普及活動(交通安全運動、高齢者ふれあい訪問) 安全運転の確保(ドライビング教室)

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	交通死亡事故者数(射水市内)	人	5	2以下	2	100.0	2以下	-	
	交通事故総量(人身・物損事故件数)	件	2988	2900	2848	98.2	2800	-	
	交通人身事故件数(射水市内)	件	539	500	524	104.8	500	-	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	交通安全教室の開催数	箇所	58	60	52	86.7	55
	交通安全教室の受講者数	人	6318	6500	6693	103.0	6800

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	9,023 千円	6,515 千円	27.8	6,311 千円
	人件費	1,999 千円	2,000 千円	0.1	1,967 千円	
	退職手当引当金相当額	千円	千円		千円	
	事業コスト計	11,022 千円	8,515 千円	22.7	8,278 千円	
財源内訳	国県支出金	0 千円	533 千円	皆増	千円	
	その他	0 千円	千円		千円	
	一般財源	11,022 千円	7,982 千円	27.6	8,278 千円	
	当該事務従事職員数	2.00 人	2.00 人	0.0	2.00 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	交通対策基本法で市町村としての責務が明記されているほか、安全・安心なまちづくりにとっては必要不可欠なものである
有効性	3	交通死者数は平成19年(6人)から、人身事故件数・負傷者数は毎年減少している
達成度	3	交通死者数は第8次射水市交通安全計画の指標で示す2名を達成し、人身事故件数及び負傷者数は減少するなど目標は達成しているものの、依然として、死亡事故のうち高齢者の占める割合が高い
効率性	4	各交通安全団体の得意分野を活かした連携を図りつつ、街頭活動による交通安全啓発、各種交通安全教室の開催により全市民に対して交通安全意識を高める

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	射水市内の全高齢者を対象とした、特に、交通安全教室などに参加しないような高齢者に対する反射材や交通安全思想の普及を図る必要がある。 警察との連携による人身物損事故発生場所等を分析した上で、交通安全対策を講じ、交通事故総量の減少を図っていく必要がある。

事業	事務事業名	交通安全施設整備費				担当部署	都市整備部		
181						課名	道路・河川管理課		
						電話	52-7392		
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	土木費
	政策名(章)	第4章 安心して暮らせるまちづくり						項	道路橋梁費
	施策名(節)	第5節 交通安全対策の推進						目	道路維持費
事業開始・終了年度	平成 18 年度 ~ 年度								
根拠法令・要綱等	無								
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	19	頁	個別計画				

事業目的	対象(誰を・何を)	全市民	総事業費(千円)	176,325
事業内容	意図(どのような状態に)	交通事故を防止し、安全で快適な道路交通環境を確保するため交通安全施設の整備を推進する。	財 源 内 訳	
	手段(どのような方法で)	街灯の電気料金や修繕が事業費の大半を占めており整備費については予算額16,200千円となっている。 ・道路反射鏡(カーブミラー)や区画線の新設及び修繕 ・ガードレール等防護柵の整備及び修繕 ・街路灯設置・修繕による交通安全対策の推進	国庫支出金	74,500
			県支出金	
			市債	
			その他	
			一般財源	101,825

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	安全施設整備件数	件	138	130	117	90.0	125

整備内容	平成20年度		平成21年度		平成22年度(計画)	
	道路反射鏡	28基	道路反射鏡	20基	道路反射鏡	25基
区画線	12,840m	区画線	15,966m	区画線	15,000m	
防護柵	90m	防護柵	310m	防護柵	150m	
街灯	110基	街灯	94基	街灯	95基	

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	直接事業費		118,536千円	176,325千円	48.8	106,820千円
人件費		13,800千円	12,240千円	11.3	13,600千円	
退職手当引当金相当額		2,000千円	1,800千円	10.0	2,000千円	
事業コスト計		134,336千円	190,365千円	41.7	122,420千円	
財源内訳	国庫支出金		74,500千円	皆増	千円	
	その他		千円		千円	
	一般財源	134,336千円	115,865千円	13.7	122,420千円	
	当該事務従事職員数	2.00人	1.80人	10.0	2.00人	

評価項目	点数	説明
妥当性	4	適切な交通安全施設の整備を推進し、歩行者及び通行車両などの道路利用者にとって安全な道路交通の確保が必要不可欠である。
有効性	4	危険箇所安全施設を整備することによって、事故を未然に防止し安全で安心な道路環境を確保することができる。
達成度	2	要望や整備必要箇所は多数あるが、緊急性の高い箇所から整備を行っている。
効率性	3	事業実施については、緊急性の高い箇所から整備を行っており効率的に行われていると考えている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
B	引き続き、危険箇所の安全確保のため安全施設を整備することにより、安全で快適な道路環境の確保に努める。